

---

## ＜三重県＞（種別：学校）四日市市立橋北中学校

---

### 推薦理由

橋北中学校は、四日市市中心市街地の北に位置し、創立76年目をむかえる各学年単クラスの小規模校である。めざす生徒の姿として「自律」「協働」「創生」の3つを掲げ、これからの社会を生きる生徒にとって必要な力の育成に取り組んでいる。また、キャリア教育を学校経営方針の重点取組とし、基礎的・汎用的能力を『4つの力（※）』として生徒に提示している。

- （※） つながる力…自分の考えや気持ちを他人に伝えて、協力する力
- 見つめる力…自分のよさに気づき、社会の一員としての自分らしい生き方を考える力
- うごく・いかす力…課題を発見・分析し、計画的に解決する力
- めざす力…自分の将来を切り拓いていく力

#### 1. 『4つの力』とキャリア教育の取組

橋北中学校では、全教育活動をキャリア教育の視点で捉え『4つの力』を育成することに取り組んでいる。具体的には、修学旅行、職業体験学習、自然教室などの各学年の行事や取組では、『4つの力』を意識させ、取組を通してどのような力を身に付けることが重要かを、生徒が主体的に考える学習を行っている。

活動後の振り返りでは、生徒が取組を通じて伸ばすことができた『4つの力』を自己評価し、学んだことや身に付けた力を新聞やプレゼンテーションソフトにまとめ、他の学年や保護者、関わった事業所等へ報告を行っている。

他に、キャリア教育の取組としては、年間10人以上のゲストティーチャー（学生起業家、文部科学省職員等）を学校へ招聘（オンライン接続を含む）し、授業や講話を実施している。

また、学期末には、「キャリア・パスポート」を活用し、これまでのキャリア教育の取組を振り返り、自らの変化や成長を認識することで、将来についてより深く考えられるよう取り組んでいる。

#### 2. 地域密着の職業体験学習とICT活用

生徒が地域の多くの大人と触れ合い、多くの大人に認めもらうことで、自己肯定感を高めるとともに、地域を知り、地域の魅力を発信できるよう、これまでは市内全域で行っていた職業体験学習を、校区内の事業所に限定して行っている。

校区内の事業所には、日常的に職業体験学習等のキャリア教育の取組を回覧板や学校だよりで周知しており、生徒自身が職業体験学習の受入事業所を開拓し、受入れの依頼を行うなど、これまで以上に主体的な職業体験学習を実施することができている。

また、1人1台端末を活用し、前年度に職業体験学習を経験した先輩とオンラインでの相談会を実施し、不安や疑問点を解消している。さらに、職業体験学習期間中には、毎日クラス全員が自宅から報告会をオンラインで開催し、良かったことや反省点について共有することで、翌日の体験活動の充実を図っている。

#### 3. 園・小・中が連携したキャリア教育

当該中学校校区では、こども園、小学校、中学校が一体となって、「キャリア教育」、「行事交流」、「ICT教育」の視点で、子どもの連続した育ちを考える、「学びの一体化」の取組を行っている。

「キャリア教育」の連携では、合同の研修会、公開授業、実践発表・交流会、中学校教員による小学校での授業を行い、生徒の主体性、多様性を育む教育・保育の推進を行っている。

園・小・中が連携したキャリア教育は、小中学校教員が、こども園で育みたい力を知ったことで、職業観・勤労観を育成することに主眼を置いた教育から脱却し、子どもたちの個々の特性に応じた主体性、多様性を育む教育へと変化し、数年来継続して取り組んでいる。

#### 4. 取組の成果

全国学力・学習状況調査において、「自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」「課題を立てて情報を集め整理し、発表する活動に取り組んでいる」「将来の夢や目標を持っている」「失敗を恐れず挑戦する」「地域社会をよくするために何をすべきか考える」といった項目の肯定的回答が全国値を上回っている。

キャリア教育の活動を『4つの力』と結びつけて、めあてを立て、振り返りを行うことに加え、地域密着や異なる校種で一体的に子どもを育む取組を推進することで、多くの大人が子どもの活動の成果を認めることにつながり、肯定的な回答の向上につながっていると考えられる。

【ホームページ】 <http://www.yokkaichi.ed.jp/~kyohoku/cms2/htdocs/>